

# 一般質問

9月1日、2日の本会議で、20人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

## 影響が甚大で予測の困難な大深度地下の外環計画中止を



日本共産党 栗原 健治 議員

**議員** 東京外環トンネル施工等検討委員会における検討内容は十分に公開されておらず、生活が脅かされるのではないかと疑問と不安の声がある。情報公開のあり方について見解を聞く。  
**市長** 民間で開発中の技術も含まれるため、議事録等については非公開としている旨の説明を受けている。

**議員** 地中拡張部の都市計画変更案では、地中トンネルの空間が巨大化し、薬剤注入による土壌改良を行う止水領域も大幅に増えている。安全性、健全性をどのように検証するのか聞く。  
**都市整備部長** 平成26年6月の委員会において、更なる安全性、健全性の方向性が示されたことを受けている。

## 子どもの貧困をなくすための実態把握と施策の具体化を



日本共産党 大城 美幸 議員

**議員** 今年1月に施行された子どもの貧困対策の推進に関する法律では、地方公共団体の責務として、地域の状況に合った施策の策定・実施がうたわれている。同法律について所見を伺う。

**市長** 経済的支援や教育の保障だけでなく、貧困により子どもの精神的発達に阻害されないよう、教育委員会と連携し取り組みたい。  
**議員** 国の施策や予算編成は今後明らかになるが、ま

ず、市内の実態調査を行う必要があるのではないかと。教育長 市としての役割・施策範囲が不明確なままでは、調査は実施できない。  
**議員** 10代の出産の多くが、いわゆる思いがけない妊娠であり、貧困やDV、虐待につながるケースが多

い。妊娠期からの支援を行う相談窓口が必要だ。  
**子ども政策部長** 相談は随時受け付けており、保健師、母子自立支援員、病院のソーシャルワーカー等が連携し支援に努めている。  
**議員** 生活保護基準の切り下げで就学援助の影響を受けた家庭、消費税増税で値上げした学校給食費を滞納している家庭を訪問し、状況把握に努めるべきだ。

**教育部長** 訪問はしていないが丁寧説明している。  
**議員** ひとり親家庭への支援の拡充について伺う。  
**子ども政策部長** 法改正を踏まえ、充実に取り組む。  
**その他の質問** 三鷹市における平和施策について



ひとり親・児童相談窓口(子育て支援課)

## 日本無線株移転問題の地域への影響を掌握せよ



日本共産党 岩田 康男 議員

**議員** 日本無線株の移転は2015年度末までに完了すると発表されている。当面三鷹製作所に残る部門の移転のスケジュールをどの程度掌握しているか。  
**市長** 本社機能や開発技術部門、生産部門については、土地売却等との調整の中で、それぞれが今後順次移転すると聞いている。  
**議員** 現時点で市内の下請工場など地域に移転の影響が出ている。認識を伺う。  
**都市再生担当部長** 操業を継続している事業もあり、周辺地域への影響も含めて、現状では大きな変化はないものと考えている。

**議員** 以前、市、市議会、商工会が提出した要望書の

口西側中央地区再開発について

## 市民の視点に立ったまちづくりを



野村 羊子 議員

**議員** 男女平等行動計画の達成状況の評価について、以前は計画どおり実施できなかったという「アウトプット」が評価基準であったが、今は事業の成果「アウトカム」の観点で評価することが重要である。市民の視点に立ったアウトカム評価が見える指標設定について聞く。  
**企画部調整担当部長** 男女平等に関する市民意識・実態調査の結果を指標に加えるなど、市民意識を反映できる項目を選定している。  
**議員** 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」に、アウトカム評価が見える指標を設定することについて聞く。

**教育長** 学識経験者等から

の意見を反映しながら、市民目線で成果を実感してもらえるよう工夫をしたい。  
**議員** 厚生労働省が推進する地域包括ケアシステムにおいて、医療・介護・生活支援等の一体的コーディネートは誰が担当のか聞く。  
**健康福祉部調整担当部長** 高齢者を支える様々な職種

の役割を十分に理解し橋渡しをするのは、行政である三鷹市だと考えている。  
**議員** 多職種連携のコーディネート、切れ目のないサービスをどこまで行政が責任を持って行うのか聞く。  
**市長** 市の責務をどのように果たしていくか実践的に学んでいる。今後、研究を進めていく覚悟をしている。

## 数件の自転車事故減少のための億単位の支出が必要なのか



半田 伸明 議員

**議員** かえで通りの自転車道は1億7千万円余の事業費で整備され、国庫支出金は約3分の1、残りは市負担だった。市は1億円以上支出したことになる。これ以外の支出はあったのか。  
**市長** 自転車道の検証のため交通量及びアンケート調査を30万円余で実施した。  
**議員** 事故件数は整備前が7件、直近の平成25年度は2件である。国の補助率のあり方を考えてみると市

が1億円以上負担してまでやる事業だったか疑問だ。  
**市長** 交通事故の減少とともに、自転車を安心して運転することの快適性などを評価しなければならぬ。  
**議員** 本事業実施の際、大口のたばこ税納税業者が結果的に市外移転するという事態が発生した。事業開始前年のたばこ税は13億円の税収だったが、移転翌年は8億円にまで落ち込んだ。つまり1億円以上の支出の

ほかに、本事業で毎年5億円の損失が続いているのとは変わらない。自転車道整備のモデル地区事業を辞退する選択はなかったのか。  
**市長** たまたまタイミングが一緒になっただけだ。そ

のことがモデル地区事業を辞退する決断に至る要因になるとは考えていない。  
**その他の質問** 高齢者施設の防火・避難対策について/空き家の樹木・雑草の維持管理について

## 本市のアスベスト対策の現状と課題を問う



嶋崎 英治 議員

**議員** 東日本大震災で発生したがれき等にアスベスト含有建材の混在が確認されている。本市のアスベスト対策に阪神・淡路大震災及び東日本大震災から何を教訓とし、どう生かしたか。  
**市長** 震災での対応の経過や状況を把握して、体制の強化や職員の研修等を行うとともに、市内でアスベスト除去を行う事業者への指導を徹底して行っている。  
**議員** 民間建造物等の解体工事の際、アスベストの作業レベル3には看板表示義務はなく、乱暴に処理されてアスベストが飛散する危険性がある。表示をするよう市独自で指導すべきだ。  
**広域まちづくり等担当部長**

レベル3のアスベスト成板は一見してわからないものもある。含有の疑いがあるもの全への対応と表示について、今後もしっかり指導していく。  
**議員** 「既存民間建築物のアスベスト対策」と「被災建築物・宅地急危険度判定システムの構築」事業の進捗状況と課題を伺う。  
**広域まちづくり等担当部長** 両事業とも今年度末に向けて現在作業を進めている。来年度実施予定のアスベスト使用状況調査で正確な実態把握をしていくことが課題だと認識している。

**その他の質問** 社会保障・税番号制度(マイナンバー)と住民基本台帳について

## 歴史・文化財の史料編さん市民の研究成果を生かせ



渥美 典尚 議員

**議員** 市内には有形、無形の歴史的資産・文化財が多く存在する。それらについては教育委員会が学術的調査に基づき編さんしているが、市民の調査研究にも内容に優れたものがある。市民の研究データの収集・活用状況等について伺う。  
**生涯学習担当部長** 郷土の歴史文化財保護のきっかけとなるような質の高い研究、説話の考証など、市民から提供を受けた多種多様な成果物の一部は、市立図書館で閲覧に供している。